



兵庫県獣医師会報

第389号

発行所：社団法人 兵庫県獣医師会

〒674-0884 明石市鍛冶屋町4-30 2F-C

TEL 078-945-6619 FAX 078-918-8811

発行責任者 立田 壽

Eメールアドレス hyogo-juui@carrot.ocn.ne.jp

獣医学術近畿地区学会 優秀褒賞3題 奨励褒賞8題受賞

10月14日(日)平成24年度獣医学術近畿地区学会が大阪府和泉佐野市の大阪府立大学りんくうキャンパスで開催されました。参加者は三学会合わせて466名(本会は53名)でした。発表演題数は産業動物獣医学会26題、小動物獣医学会49題、獣医公衆衛生学会21題で、発表終了後直ちに審査委員会が開かれ、優秀褒賞8題、奨励褒賞19題を決定、各学会長より講評に合わせて発表がなされました。本会会員の研究は、いずれも高い評価が与えられ、優秀褒賞に3題、奨励褒賞に8題と群を抜く誇らしい成果を挙げました。研究に参画された会員諸氏の日頃のご努力に敬意を払います。

本会会員が受賞した優秀褒賞と奨励褒賞の発表者と演題は次のとおりです。(敬称略)

1優秀褒賞(発表順)

(産業動物獣医学会)

① 口蹄疫等緊急病性鑑定画像診断システムの開発整備

八巻 尚(洲本家畜保健衛生所)他2名

(内容)口蹄疫等の家畜伝染病の疑い事例発生の際、当該畜及び同居畜の病変部位を写真撮影し、農林水産省に送付して画像診断が行われる。不鮮明になりがちな現場撮影を鮮明化し、画像送信についても改善するシステムを開発整備。

産業動物獣医学会の優秀褒賞は2題で、1題は大阪府獣医師会の会員が受賞。

(小動物獣医学会)

① 猫の胸椎椎体に発生した骨肉腫の一例

宮 豊(みや動物病院:芦屋市)他6名

(内容)第10胸椎椎体に骨肉腫が発生した猫につ

いて腫瘍を可能な限り切除し、前後の椎体にピンを刺入し骨セメントで固定。術後は順調に回復。第64病日に背部痛を示したのでビスフォスフォネートを投与、痛みは消失。第66病日から放射線療法を行い、第229病日で再発なく経過観察中。同症の過去の報告では最長6ヶ月未満の生存。

小動物獣医学会の優秀褒賞は3題で、ほかは大阪市獣医師会会員、大阪府獣医師会会員が受賞。

(獣医公衆衛生学会)

① 管内食肉センターで発生した

Histophilus somni感染による敗血症事例

松本 瞳(淡路食肉衛生検査所)他1名

(内容)ヒストフィルス、ソムニ感染症は、敗血症・脳脊髄炎型、肺炎型、流産型がある。淡路食肉センターに病畜として搬入され黒毛和種に解体検査で敗血症を疑う所見を認め、細菌学的検査、病理組織学的検査、血液生化学的検査を実施。病畜は敗血症・脳脊髄炎型のヒストフィルス、ソムニ感染症と診断。行政措置は敗血症による全部廃棄としたと畜検査では希な症例。

獣医公衆衛生学会の優秀褒賞は3題で、ほかは三重県獣医師会会員、京都府獣医師会会員が受賞。

2奨励褒賞(発表順)

(産業動物獣医学会)

① 膀胱縫合術により膀胱破裂から回復した黒毛和種去勢肥育牛の一症例

菅 保礼(兵庫県農業共済組合連合会西播基幹家畜診療所)他6名

② 形状の異なる飼料用米の給与が肥育豚の發育および肉質に及ぼす影響

石川 翔(兵庫県畜産技術センター)他1名

産業動物獣医学会の奨励褒賞は上記2題を含めて6題です。

(小動物獣医学会)

- ① 気管支軟骨低形成により気管支拡張症を発症したと考えられた犬の一例
高瀬奈美(安田動物病院:西宮市)他5名
 - ② 骨髄腫関連疾患の猫の一例
舩方祐子(安田動物病院:西宮市)他6名
 - ③ 膵炎に併発した肝膿瘍に対し内科療法が奏功した犬の一例
築澤寿栄(安田動物病院:西宮市)他5名
 - ④ 犬の軟部組織肉腫に対する動注療法の適用
廣瀬遥子(加古川動物病院:加古川市)他4名
- 小動物獣医学会の奨励褒賞は上記4題を含めて10題です。

(獣医公衆衛生学会)

- ① 処理場における異常鶏の集団発生とその対応
若林明世(但馬食肉衛生検査所)他1名
 - ② 加古川食肉センターにおける微生物学的衛生対策 ～枝肉の衛生管理～
坂江 博(兵庫県食肉衛生検査センター)他1名
- 獣医公衆衛生学会の奨励褒賞は上記2題を含めて3題です。

獣医師に課せられた申請届出手続き

今年、2年に1度の獣医師法第22条の届出を行う年ですが、この度、農林水産省の担当課より、日本獣医師会に対し獣医師法及び獣医療法の規定により獣医師に課せられた各種の申請・届出が的確に行われるよう協力方要請がありました。

例えば、婚姻等により氏名等が変更された場合、①獣医師法第22条の届出を行ったことにより、或いは②兵庫県獣医師会会員であって、会の事務局に会員登録事項の変更手続きを行ったことにより、獣医師法第9条の規定に基づく獣医師法施行規則第3条の登録事項の変更の申請も完了したものと誤認し、本来行われるべき申請・届出がなされない事態が憂慮される。としています。

獣医師に課せられた申請・届出を列挙しますと

- ① 獣医師法第9条に基づく獣医師名簿の登録事項変更(本籍地、氏名等の変更。関連して免許取消申請、獣医師死亡届)
(届出先:農林水産省畜水産安全管理課獣医事班)

- ② 獣医師法第22条に基づく届出(2年に1度、獣医師免許保持者の就業状況を把握するために行われる届出)

(届出先:住所地を管轄する家畜保健衛生所)

- ③ 獣医療法第3条に基づく診療施設開設届の事項変更(開設者、管理者、診療業務を行う獣医師の変更[同一人の氏名の変更も含む]。診療施設の休止、廃止)

(届出先:診療所所在地を管轄する家畜保健衛生所)

以上、獣医師法第22条の届出と混同することなく、適切な対応をとるよう要請されたものです。

なお、関係法令の改正により、法22条届出用紙が変更されています。本会は従来通り、全会員に12月中に発行する会報1月号に同封して届出用紙をお配りします。提出期限に遅れず届出を行ってください。

傷病野生鳥獣の診療

昭和61年度より、兵庫県要領に基づいて実施してきた傷病野生鳥獣救護事業は、開業者の献身的な尽力を支えに今年で27年目を迎えています。その間、住民の価値観の変化、少子高齢化をはじめとする社会構造の変遷等、様々な姿に変転する環境に順応して、動物愛護の実績を積んできました。一方で、野生動物特に増えすぎたと言われる哺乳類による、農作物等の食害や人への危害、遺棄された外来動物による予期せぬ被害や生態系のかく乱等、原因の多くは人間の行動にあると指摘される実態も無視できない課題ですが、これは別の機会に譲ることとして、本稿では、平成23年度の傷病野生動物救護事業について触れます。

傷病野生鳥獣の救護といっても、救護される動物のほとんどは鳥類が占めます。これは例年同じ傾向です。特にスズメ、ツバメ、ヒヨドリなど身近で観察できる小型のトリが収容されるケースが目立ちます。ヒナや幼鳥が、巣から落下したり、巣立ちに失敗して墜落し、地上で人に拾われて病院に届けられるのです。よって救護件数は季節的に、繁殖期の春から夏にかけてが最も多くなります。

(次頁に兵庫県獣医師会会員扱いの平成23年度傷病野生鳥獣救護実績)

種 類	届 出 数	傷病の程度				傷病等の原因					結 果			備 考 結果欄他の 内 容
		重 症	中 症	軽 症	無 症 他	衝 突	咬 傷	転 落 等	衰 弱	不 明 他	放 鳥 獣	死 亡	他	
ハト	19	7	7	2	3		2	1	2	14	8	11		
スズメ	17	6	3	7	1	1		9	3	4	7	9	1	給餌継続1件
ツバメ	9	5	3		1		1		3	5	2	7		
ヒヨドリ	8	2	4		2			2	3	3	2	5	1	給餌継続1件
トビ	6	3	2	1					1	5	5	1		
キジバト	6	3	3				1			5	3	3		
ドバト	5	4	1			1	1			3	1	4		
アオサギ	4	2	2			1	1			2	2	1	1	安楽死処置1件
カラス	2	1	1				1		1			2		
コガモ	2	2							1	1	1	1		
カワセミ	2	2							1	1		2		
ムクドリ	2		1		1					2	1	1		
ゴイサギ	2	2								2			2	安楽死処置2件
カワウ	2	2				1			1		2			
ハヤブサ	2	1	1							2	1		1	給餌継続1件
オオバン	1	1								1		1		
ウグイス	1	1								1		1		
タカ	1				1				1			1		
ウ	1	1							1			1		
サギ	1	1								1		1		
エナガ	1		1							1		1	1	給餌継続1件
ホオジロ	1			1					1		1			
クサシギ	1			1						1	1			
アオバズク	1	1								1			1	動物園転院1件
ヒワ	1				1					1	1			
メジロ	1	1				1					1			
ハシボソカラス	1	1								1	1			
カルガモ	1	1								1			1	安楽死処置1件
ミサゴ	1	1								1	1			
カモ	1				1					1	1			
イソシギ	1	1								1	1			
マガモ	1		1							1	1			
種類不明(鳥)	2				2					2	1	1		
タヌキ	1	1								1		1		
野ウサギ	1		1							1	1			
合計	109	53	31	12	13	5	7	12	19	66	46	54	9	

(続き)

大型の鳥類は、衰弱したり事故にあつて、地上に降りたところを保護され、運ばれてきます。小鳥と違い触れるにも危険を伴うので、警察、農林事務所や市役所を経由して入院する場合も多く、診療に当たる獣医師は注意が求められます。

哺乳類は、年間数頭が入院しています。野ウサギ、イタチ、タヌキ等が主ですが、時には大型のシカが運ばれてくることがあります。診療獣医師は危険回避の注意と、体力が必要です。

診療、給餌介護の努力が奏功し、回復した鳥獣を山林に放つ時の喜びは、何事にも代え難いものがあると思います。

野生鳥獣診療に関する兵庫県要領によると、救護される鳥獣の位置づけが述べられており、直接人為的な影響による負傷を発見、保護捕獲されたものを主な対象とし、野生状態で負傷した鳥獣は積極的に救護しないものとしています。自然界の摂理を説いたものと思います。

獣医師研修会の受講者募集

会報9月号で、お知らせした獣医師研修会の受講者を募集します。奮ってご参加ください。

- 1 研修会の名称 「新規獣医師が職業倫理・関係法令・コミュニケーションスキル等を習得するための技術研修」
- 2 開催日時 平成24年11月29日(木)
午後1時より5時まで
- 3 場所 兵庫県農業共済会館 4階会議室
神戸市中央区下山手通4丁目15-3
(JR元町駅下車、北へ徒歩10分)
電話078-332-7161
- 4 研修内容 ①講義:関係法令(13時~14時)
講師 兵庫県農政環境部畜産課
課長補佐 永田圭司氏
②講義:職業倫理(14時~15時)
講師 兵庫県農業共済組合連合会
家畜部長 西口 示氏
③コミュニケーションスキル
(15時~17時)
講師 (有)クリシェ 水野節子氏
- 5 受講対象 新規獣医師(現在の職域への就業後
3年以内程度を対象)を中心とした獣
医師。(定員30名)
- 6 受講料 無料(当日配布のテキストを含む)

- 7 問合せ先 社団法人兵庫県獣医師会事務局
- 8 受講申込 平成24年11月28日までに社団法人
兵庫県獣医師会事務局に電話または
FAX(氏名、連絡先電話番号を明記)
で直接申込みこと。
電話078-945-6619
FAX078-918-8811

新入会者紹介

(10月入会)

高澤木綿子氏 姫路市食肉衛生検査センター



○抱負等

今年度から姫路市食肉衛生検査センターに配属されました、高澤木綿子と申します。木綿子と書いて、ゆうこと読みます。珍しい名前なのか宅配便配達の方には

何度訂正しても覚えて頂けていませんが、この自己紹介を見て下さっている皆様には、是非覚えて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

齋藤 亨氏 西播磨食肉衛生検査所

土取節夫氏 丹波健康福祉事務所

巳年の皆様の年頭所感

来年の日記帳、カレンダー、暦が本屋の店頭に並ぶ季節になりました。新年は巳年です。暦の立読み知識では、「巳年の人の性格は心が広く忍耐力があり、品位は高尚で温和な天性であります。どんなことがあってもやり通すという実行力と忍耐力がありますから、たいていのことは成功するという恵まれた天運を持っています。」とのこと。

そこで、例年どおり巳年生まれの会員の皆様に年頭の所感、抱負等の投稿をお願いします。人生行路の道しるべ、趣味のうんちく、明日への夢、等々ご自分の世界をご披露ください。会報新年号で会員を力づけてください。

巳年の皆様に、原稿用紙をお送りします。紙面の都合で400字程度にまとめていただき、12月10日までにご返信くだされば幸いです。郵送、FAX、メール、いずれでも結構です。

巳年は昭和4年、昭和16年、昭和28年、昭和40年、昭和52年です。